



令和5年4月1日

## 令和5年度 渋谷区立上原中学校 学校経営方針

渋谷区立上原中学校  
校長 浜田 真二

### 1 教育目標

一人一人の個性や能力を生かす教育を推進し、凛として気品のある、他とともにより良く生きる、未来を創造する生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自主・自律
- 共生
- 未来の創造

### 2 キャッチフレーズ

笑顔いっぱい わくわくいっぱい 上原中！

生徒の笑顔があふれ、ワクワクするような学校生活が待っている学校をつくります。そのためには、生徒一人一人を大切に、安全安心な学校生活を送れることを大切にします。さらに、毎日生徒がワクワクするような授業・学校行事等を目指します。

教員の笑顔があふれ、ワクワクしながら教室に向かう学校をつくります。そのためには、教員は「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に日々取り組んでいきます。また、ワークライフバランスを考えた働き方を意識していきます。

保護者や地域の方も笑顔があふれ、ワクワクしながら学校の教育活動に協力してもらえる学校をつくります。そのためには、学校からの情報発信を積極的に行うとともに広く学校を公開していきます。

### 3 目指す生徒像

学校の教育目標を達成するため、教職員が教育に対する熱意をもち、一丸となって生徒の可能性を伸ばす教育実践を行う。

<目指す生徒像>

- 豊かな心をもち、いつでも気持ちの良い挨拶ができる生徒
- 主体的に学習に取り組み、個性を生かし多様な人々との協働ができる生徒
- 豊かな創造性を備え、未来を拓く主体性のある生徒

### 4 具体的な取組

#### (1) シブヤモデルの実現（未来の学校に向けた学びの改革）

- ① 教科教室型システムの活用
  - ・ 自ら学ぶ姿勢を育み、生徒の学習への意欲向上を図る。
  - ・ 生徒主体の新たな学びの展開を図る。
  - ・ 教科準備室を活用した教科部会の定例化を図る。



## ② ICTの日常化

- ・身近な道具としてタブレット端末、電子黒板などのICT機器を活用した授業を推進する。
- ・ICT活用の日常化を進め、毎時間30分以上学習者用デジタル教科書を起動し、活用する。
- ・アプリケーションソフトを活用し、生徒の意見や考えを共有し自分の考えを創造する学習活動を展開し、生徒主体の学びを推進する。

## ③ シブヤ未来科の推進

- ・シブヤ未来科の全体計画、指導計画、指導方法等の研修を進めていく。
- ・自ら課題を設定し、情報収集、整理、分析、まとめ、表現するなどの探究的な学習を進める。
- ・教科横断的な視点を取り入れ、総合的な学習の時間を中心に各教科で学んだ見方・考え方を活用していく。

## ④ 日々の授業改善

- ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、主体的・協働的に学習できるよう日々の授業改善に努める。
- ・教員の授業力、資質・能力の向上を図るため、月に1回以上の校内研修を実施する。
- ・英語・数学指導の充実を図るため、習熟度別少人数指導を実施し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・各教科の特性に応じた信頼される評価・評定の在り方について、全教員で研修していく。

## (2) 安全・安心に挑戦できる環境

### ① 人権教育の充実

- ・あらゆる偏見や差別意識の解消を目指し、多様性を尊重する教育の充実を図り「ダイバーシティ&インクルージョン」を目指す。
- ・基本的な生活習慣や規範意識、礼儀やあいさつの指導を徹底するとともに、人間性豊かで思いやりのある生徒の育成を図る。

### ② いじめ防止の徹底

- ・「いじめと学校生活」に関するアンケートを隔月実施するとともに年に3回いじめをテーマにした授業を行う。
- ・教員に対していじめ防止に関する研修を年に3回以上実施する。
- ・いじめ等の諸課題の早期発見・早期対応を図るため教育ダッシュボードを効果的に活用する。

### ③ 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育校内支援委員会を月に1回以上実施し、関係機関との連絡・調整、個別指導計画を作成し、支援を進める。
- ・特別支援教室を開室し、拠点校と連携しながら個別指導及び少人数指導による自立活動を推進する。
- ・明星学級と通常学級との交流や特別支援学校との副籍交流の実践を推進する。

### ④ 地域との連携強化

- ・学校運営協議会を年に5回以上開催し、地域学校協働本部との連携のもとコミュニティ・スクールの活性化を図る。
- ・地域の方、保護者、生徒と一緒に活動できる草むしり、花壇の整備等の取組を充実する。
- ・ホームページやHome&Schoolの充実を図り、より豊富な情報発信を目指す。

## (3) 働き方改革

### ① 出退勤システムの活用

- ・出退勤システムで教員の時間外在校時間を把握し、基準を超える教員に対して指導・助言を行う。
- ・週1日の定時退勤日の設定を行う。

### ② ペーパーレス化の推進

- ・職員会議等ではタブレット上の電子データを活用しながら円滑に進める。
- ・Home&Schoolを活用しながら、欠席生徒の把握、保護者に対するアンケートなどを実施する。